

群馬県立近代美術館 新収蔵作品介绍

令和 5 年度 新たに 35 点の作品を収蔵

令和 5 年度、群馬県立近代美術館では、新たに 35 点の作品を寄贈により収蔵しました(別添リスト参照)。

磯部草丘、横堀角次郎、南城一夫といった大正～昭和期に活躍した本県ゆかりの作家の代表作から、現在活躍中の若手作家の最新作まで、幅広い作品がご厚意により寄贈されました。

新収蔵作品は、今年度、下記のコレクション展示において公開予定です。

「日本と西洋の近代美術 I」および「新収蔵作品介绍」

会期/2024年7月13日～8月25日

「磯部草丘と群馬の画家たち」

会期/2025年3月1日～4月6日

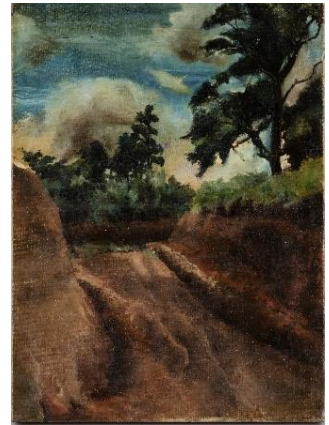
— 新収蔵作品のポイント —

1. 秋山コレクション

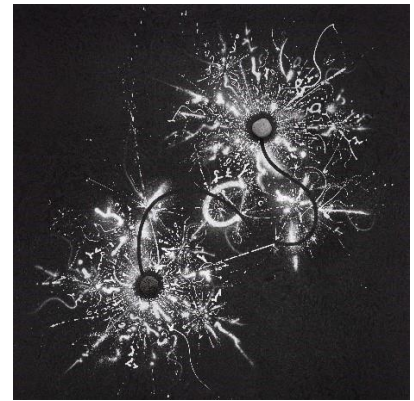
故秋山光司氏(玉村町)は、群馬ゆかりの作家を中心に日本画から現代美術まで幅広い作品を収集し、自宅に展示室を作って関係者に公開していましたが、昨年 8 月に逝去されました。遺されたコレクションのうち特に重要な 6 点の作品が、遺志を受けたご遺族から寄贈されました。

2. 現代美術コレクション

牧寛之氏(株式会社バッファロー 代表取締役社長)からは、昨年当館で開催した「鈴木ヒラク 今日の発掘」展で展示された 4 点を中心に、群馬を拠点に活動する竹村京、鬼頭健吾、村田峰紀の代表的作品、そして更なる活躍が期待される若手作家の最新作を加えた 17 点が一括して寄贈されました。



横堀角次郎《代々木風景》
秋山光司氏遺贈



鈴木ヒラク《隕石が書く (S/L) #1》
牧寛之氏寄贈



鬼頭健吾《active galaxy》
牧寛之氏寄贈

問い合わせ先 群馬県立近代美術館
〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町 992-1
TEL.027-346-5560
FAX.027-346-4064
県立近代美術館 HP
(<https://mmag.pref.gunma.jp/>)

